

学校だより 5月号

城南

学校教育目標 「自立の基礎を養う～自分のことは自分で～」 児童数100

目に青葉 山ホトトギス 初鯉

新年度が始まり1ヶ月が経ちました。学校周辺の山々の新緑がまぶしく、思わず「目に青葉・・・」という句が頭をよぎります。本当に新緑の美しさ、みずみずしさ、生命力を感じ、力を与えていただいています。

さて、13名の1年生が入学してから3週間。誰一人欠席する人がいなく、全員の1年生が毎日元気に登校してくれていることがありがたいです。保護者の方々の体調管理や励ましのお陰で、ありがとうございます。また、新6年生をはじめとする上級生の子ども達为新1年生に対して、優しく声をかけたり、歩く速さを加減したり、と関わってくれている姿にも感謝しています。

一方で、「上級生がもっと・・・」というお声も聞きました。我が子を心配されるあまり上級生に対する期待の大きさかもしれませんが、完全ではないけど一生懸命にやろうとしている上級生の気持ちは・・・？「もっと」という言葉には「やって当たり前」という意味も含まれています。そこで「もっと」という気持ちを抑え、「ありがとう。いつも世話をしてくれて」という感謝の姿勢で励ましてくださったら、上級生もやりがいを感じると思います。言葉一つで、結果は大きく変わってくるのではないのでしょうか？

本年度の方針

昨年度末の学校だよりでお伝えしましたが、学校教育目標を「自立の基礎を養う～自分のことは自分で～」に変更し、①基本的な生活習慣の確立 ②基本的な学習習慣の定着 ③基本的な社会性の育成をもとに、城南小学校の児童の良さをさらに伸ばし、課題を解決していこうと思っています。

①基本的な生活習慣は、成長期の子ども達にとっては一番大切なことです。生活習慣が乱れると、身に付いていないと、学力も体力も、友達関係も、支障が出てきます。

新学期早々のある日の午後、授業中にもかかわらず居眠りをしている児童がいました。その子に何時に寝たのかを尋ねると、何と「午前4時」でした。これでは学習どころか、健康にも悪影響です。保護者の方にお願いです。どうぞ午後10時までには寝させてください。夜型のご家庭が増えている傾向がありますが、おとなは少々のは無理がききますが、子ども達にはすぐに影響が現れます。宿題ができていなければ、朝早めに起こしてさせてください。ゲームやスマホなどをしていたら取り上げてください。本当にお子様のことを思うのであれば、保護者として毅然と対応して下さいますようお願いいたします。

②学習習慣の定着については、まず学校での授業の様子は随分と落ち着いて取り組むことができるようになってきています。また、宿題等の提出も良くなってきています。そして、学級担任を中心とした教員の指導も丁寧で、子ども達の意欲を引き出し、子ども達を活躍させながら行うようになってきました。

それなのに十分な学力が身に付いているとは言えない状況です。校長として悔しいと同時に申し訳ない気持ちです。去る1月に実施した岡山県学力状況たしかめテスト（現5・6年生）では、算数の基本的な問題でも、国語の基本的な問題でも厳しい結果でした。また、先日の全国学力学習状況調査（6年生）でも、私が採点してみると、基本的な算数・国語で、無回答が多く見られ、正解率が低い

結果でした。

特に、国語の結果が低く、「読む」こと～「読み取る」ことが不十分であることがうかがえました。

そこで、本年度は、国語に関しては、「読む」ことを中心に、国語の授業や読書の時間、家庭学習等で文字や漢字、あるいは長文等に対する抵抗感を少なくしていきたいと考えています。時間はかかることですがじっくりと取り組まなければならない課題だと思えます。そして、最終的には読書の楽しさを味わうことができる児童が一人でも増えてくれたらと願っています。

次に、算数に関しては、過去の学年におけるつまづきが気になっています。つまづきがあるから今の学年の学習内容が分かりにくかったり、定着していかなかったりしているのです。そこで、学級担任以外の教職員で、児童一人ひとりのつまづきを見つけ、そのつまづきを解消していこうと思えます。毎週火・木曜日の朝の10分間、1年生の計算問題から順にプリントをしていきます。全問正解ならば次のプリントに進みます。最初は簡単です。3年生の内容ぐらいからぼちぼちミスが出てくるようになると思えます。ミスした問題を自分でやり直させます。そのミスが単なる不注意なのか、分からなかったのかを探り、分かっているなければ校長室で個別に指導します。過去に学級が荒れたことがあればその時期の学習内容が抜け落ちていることもあります。学力の点数を上げることも大切ですが、何よりも子ども達がこの先困らないようにしておかなければなりません。小学校での算数が分からなければ、中学校での数学は、まさに苦痛です。

4月の行事から

○4月7日(金) 着任式・始業式

着任式では、多くの新しい先生に子ども達は興味津々。そして、始業式では、どの先生が担任になるかが一番興味のあるところ。新たな先生と一緒に素晴らしい学級を！

○4月9日(日) 城山祭り

好天に恵まれ、満開の桜の中、素晴らしい祭りが開催されました。城南小からも傘踊りの会に参加している10名の児童が素晴らしい踊りを披露してくれていました。

○4月11日(火) 入学式

13名の新1年生。全員の姿勢も態度も、そして元気の良い返事。新しい仲間が増え、全校児童がちょうど100名になりました。

○4月13日(木) 14日(金) 退任式

内田教頭先生、三宅先生、南先生、草村先生、今岡先生、岡本先生とのお別れ。代表の児童がお礼の作文を読み、花束を贈呈。城南小に思い入れのある先生達から最後の言葉をいただき、涙ぐむ児童もいました。

○4月18日(火) 全国学力学習状況調査・岡山県学力状況テスト

真剣にテストに臨んでいましたが、難しい文章や長い文章に四苦八苦？問題文の読み取りに苦戦していました。

○4月19日(水)～21日(金) 家庭訪問

担任の出張等の関係から予定日を変更させていただいたり、道が分からず遅れ気味になったりご心配やご迷惑をおかけしました。保護者の方のお考えやお子様の様子等をお聞きし、今後の指導や関わり方等に生かして参ります。

○4月25日(火) 春の遠足

好天の中、縦割り班で6年生が中心となってBGと城山に登りました。ゲームやお弁当などで縦割り班の交流が深まりました。私は緊急用の車ということで・・・つまらない遠足となりました。

○4月27日(木) 参観日・PTA総会・学級懇談・専門部委員会

午後からでしたが目一杯のスケジュール。城南小が誇る自主的なPTA活動でも大変お世話になります。

○4月29日(土) 30日(日) PTA廃品回収

地域の方々の熱いご理解とご支援をいただき、積極的なPTA方々による廃品回収が行われました。広範囲の城南小学区からたくさんの廃品のご提供、本当にありがとうございました。

迂闊（うかつ）ではすまされないのですが、迂闊でした！

5月30日（日）の廃品回収を行っていた午前9時頃に城山公園管理者の方が学校にお越しくださいました。お話の内容は、4月25日（火）の春の遠足で全校児童100名が訪れた城山公園で、敷地内に生えていた筍を根元から折っていたということでした。

そこで、校長の私と遠足担当の東教諭の二人で城山公園に行き、急遽駆けつけてくださった他の城山公園管理者の井上さん、森さんとともに現場を確認しました。竹林の囲いの外側の筍2本と広葉樹の下辺りの1本、さらに囲いの内側の1本が根元から折られていました。囲いの外側の2本は、竪穴式住居に近く、善意に考えれば、子ども達が走っていてぶつかって折ってしまったということも考えられますが、樹木の下やましてや囲いの中の筍は、故意に折ったとしか考えられません。

ここで、何で城南小の児童と決めつけられるのかと思われる方がいらっしゃるかもしれませんので・・・校長の私は、当日の子ども達の様子を城山公園で遠巻きに見ていました。全校児童が6つのふれあい班に分かれ、午前11頃、前半の3班が活動を終えてB&Gに移動する前にゴミや忘れ物等がないかを見て回った時に囲いの外側に生えていた2本の筍（3～40cm）を見かけていました。その時点では折れてはいなかったです。その後、後半の3班がB&Gから登ってきて、宝物探しをしたり弁当を食べたりして、午後1時前頃には城山公園を出発して学校に戻りました。児童が城山公園を去る時にゴミや忘れ物等には気をつけていたのですが、筍がどうだったかは定かではありません。城山公園の管理者の方が筍が折られていたのを確認されたのが午後4時頃だったとお聞きしました。当日の一般の方の来所者は、私が城山公園にいた3時間ほどの間に年配の方が数組ほどでした。そのような状況から、筍を折ってしまったのは残念ながら城南小の子どもではないかと思われるのです。（5月1日の午前中に、児童から、遠足の時に折れた筍を見たとの報告がありました。）

迂闊① 全体を把握する立場の校長の私が、全校児童が城山公園を後にする時点で、城山公園の状況確認ができていなかった。また、約10名の教員が付き添いながら誰も気づかなかった。

迂闊② 地域のシンボルでもある城山公園を教育の場として活用させていただくのに、城山公園の伝統や文化的な価値、地域の人々からの熱い思い、管理されている方々の思い等々を子ども達に十分な指導をしていなかった。

4本の折られた筍は、「黄金竹」と呼ばれ、鹿児島県から取り寄せられた竹のようです。城山公園の管理者の方々は、古くなった竹を切り新しく生えてきた筍を育て、周囲の藁葺きや樹木との調和を図りながら長さや枝振りを剪定するなど、日々お世話をされていることをお聞きしました。新しく生えてきた筍をどのように育て上げようかと思いを巡らせながら、楽しみにされていたお気持ちを踏みにじってしまったことは取り返すことはできません。お怒りはごもっともです。ただ、ただ、申し訳ございませんでした。

城山公園の管理者の方から、誰がやったのか特定させてほしいというご要望がありました。もう、来年度からは来なくてよいとも。しかし、最後には子ども達のことを考えてくださった温かいお言葉をいただきました。それは、

「やった子どもは自分では分かっている。故意ではなくても。このことをそのままにしておくと、その子は一生、心に傷が残ったままになる。やったことが平気な子は、大きくなったら平気で人も傷つける。どうか、そんな人生を送らないよう自分から勇気を出して謝ってほしい。」

5月1日（月）午前8時15分に全校児童を体育館に集め、城山公園の黄金竹の写真を見せながら、私は、城山公園での出来事を話しました。地域の方々の思い、城山公園の方々の思いを伝え、心当たりのある児童に自分から謝るように諭しました。私の話が不十分、あるいは勇気がなくて、名乗り出る児童はいないかもしれません。（5月1日、午前中にはまだ名乗り出てきてはいません。）

〈保護者の方へ〉

5月3日からゴールデンウィークで、行楽地等出かける機会も多い季節になりました。家を一步出たら公共の場所です。みんなが使う場所です。どうぞ、公共のマナー、ルールを身に付ける機会でもあります。そのような視点でも、お子様の様子を見守ってください。 【文責：中西伸司】